

令和5年度事業報告

○概要

美作市シルバー人材センターは、高齢化社会の担い手として、基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、長年培ってきた知識や技能、経験を生かして生き生きと働き、地域の皆様からの期待に応え、信頼されるセンターをめざし、美作市をはじめ関係機関のご支援とご協力を得て、会員、役員、職員が一丸となり、業務を推進してまいりました。

以下、事業の報告をいたします。

1. 普及啓発活動の実施

- ・市の機関誌への広告掲載、告知放送を活用し会員募集を呼びかけました。
- ・会員募集、お仕事募集の案内を掲載した「シルバーだより」を発行し、2社の新聞に折込し各家庭へ配布しました。また就業開拓員や職員が官公庁や企業へ訪問し配布及び窓口などへ設置しました。
- ・スーパー店頭で役職員が声をかけ「シルバーだより」を配布しPRしました。
- ・郵便局のイベントスペース内で会員募集のPRチラシを配布しました。
- ・作東・勝田・英田地域のふるさとまつりに地域の役員や職員が参加してチラシを配布しPRを行いました。英田地域の会場ではポン菓子の実演を実施し来場者に好評でした。
- ・シルバーの英田支所前にてポン菓子を实演し、地域の一般市民や他地域の会員も来場され、お茶を飲みながら語り楽しく過ごしてもらうことでPRを行いました。
- ・女性限定の講習会を実施して女性会員の募集を行いました。
- ・ホームページを活用し、地域から離れた方にも活動報告などの周知を行いました。

2. 安全・適正就業の推進

- ・「安全は全てに優先する」をモットーに安全委員会の発行する「安全ニュース」や「安全パトロール」、SMSなどで注意喚起し、事故防止の活動に取り組みました。前年度は事故が多く、賠償事故9件、傷害事故7件が発生し、特に賠償事故のうち4件が草刈作業中の石の飛散による車の窓を破損させる事故でしたが、今年度は、賠償事故が1件（光ケーブルの切断）と減少し、草刈作業中の石の飛散による事故は0件となりました。また傷害事故は前年より1件減り6件となり、そのうち3件が作業中にハチに刺されたもので、その他、転倒による小指の骨折、障

害物が腕にあたり擦り傷などで、いずれも傷害事故では入院などの重篤事故にはなりませんでしたが。しかし熱中症が8月下旬から9月上旬に2件発生し、いずれも「あとちょっとで作業が終わるから」や「あの人が頑張っているのだから自分も頑張らないと」と頑張り過ぎてしまったことが原因の1つで2件のうち1件は重症となり入院し治療されました。

- ・「交通安全無事故・無違反チャレンジ200日」へ3チームが参加、挑戦し2チームが達成しました。
- ・適正就業の推進、就業率の向上の見地から、極力就業のローテーション化に努めてきました。

3. 派遣事業等の推進

- ・今年度の派遣事業は、前年度より受注件数が2件減、契約金額は1,016千円の減となりました。依頼があればSMSにて携帯電話を登録している全会員へ知らせ、個別にも連絡をとるなどして就労可能な会員のマッチングに努めましたが、マッチングできないことも多くありました。
- ・臨時的かつ短期的業務への雇用・就業を希望する一般求職者や会員を対象とした職業紹介事業の実績はありませんでした。

4. 空き家管理事業の推進

- ・今年度は県連合により「空き家管理」の講習会を実施してもらい、多くの会員また会員希望の方が空き家管理の基礎を学びました。

5. 就業等に関する調査研究事業の実施

- ・今年度も役員等による調査、研修は行いませんでした。

6. 会員拡充と就業機会の開拓・提供業務の推進

- ・公共団体・企業等各機関、市民の皆様への会員拡充、就業開拓を周知する為、また公益法人組織であるということから各地区役員、会員の協力を得て公共施設等のボランティア（奉仕）活動を以下の市内3ヶ所で行いました。
 - 東部支所（旧支所裏側宮本川 草刈、清掃作業） 17名参加
 - 英田支所（英田幼稚園、保育園 剪定作業） 12名参加
 - 本 所（福祉センター 剪定、草刈作業） 13名参加

7. 会員への技術等の付与

- ・県連合主催で「スマホ教室」「刈払機取扱講習」「空き家管理講習」「樹木剪定講習」「水引リース教室（女性限定）」が実施されました。
- ・美作市シルバー人材センター主催で「スマホ基礎教室」「ミニ門松講習会（女性限定）」「ミニ竹箒作り教室」を実施しました。

8. 令和5年度の就業機会の実績数

(1) 就業実人員	225名	(2) 就業率	83.0%
(3) 就業延人員	13,528人日	(4) 受注件数	2,575件
(5) 契約金額	94,559千円	(6) 年度末会員数	271名